

○ F A 第35回 沖縄県U-11サッカー大会

【大会要項】

- 1 主 旨 本大会は、J A 共済の社会還元の一環として、子どもたちのスポーツ環境作りと健全育成を基盤にサッカー競技力の向上とフェアプレー精神を育む事を目的として行うものである。
- 2 主 催 (一社)沖縄県サッカー協会
- 3 主 管 (一社)沖縄県サッカー協会4種委員会
- 4 特 別 協 賛 JAおきなわ、全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部
- 5 後 援 沖縄県、(公財)沖縄県スポーツ協会、うるま市、金武町、うるま市教育委員会、うるま市体育協会
金武町教育委員会、国頭郡体育協会、うるま市サッカー協会
- 6 大 会 期 日 各地区代表：2021年12月4日(土)迄に各地区代表選出
沖縄県大会：2021年12月11日(土)・12日(日)・18日(土) 予 備 日：2021年12月19日(日)
- 7 大 会 会 場 うるま市与那城陸上競技場、沖縄県総合運動公園蹴球場
金武町フットボールセンター
- 8 参 加 資 格 ①大会実施年度に(公財)日本サッカー協会(以下JFAとする。)[「第4種」の種別で加盟登録を行ったチームの選手で小学生5年生以下であること。
②選手は、2021年度スポーツ安全保険に加入していること。
- 9 競 技 規 則 ①2020/2021年度のJFAの競技規則(JFA 8人制サッカー競技規則)による。但し、細則については、4種用として大会規定を定める。決定は4種委員会の内容による。
②チーム構成は監督・コーチ計2~3名、選手20名以内とし、交代は12名までの自由な交代を適用する。(一度退いた競技者も再び出場できる。何回でも交代可能とする。)
GKの交代はボールがアウトオブプレー時、主審に通告した後、許可を得て交代を行う。
③エントリー表は、受付時に提出し、選手は試合開始10分前に試合ピッチ近くに集合すること。
④フィールドサイズ：固定しない(縦60~68m、横40~50m程度)
※但し、フィールドサイズは68×50mの大きさを推奨する
ペナルティエリア：ゴールライン上、ゴールポスト内側よりタッチライン方向へ12m
その地点からゴールラインに直角12m
ゴールエリア：ゴールライン上、ゴールポスト内側よりタッチライン方向へ4m
その地点からゴールラインに直角4m
センターサークル：半径7m ペナルティマーク：8m
ペナルティアーク：半径7m コーナーアーク：半径1m
ゴールの大きさ：ゴールの内のり縦2.15m×横5m(少年用)(丸型、角型、簡易ゴールも可とする。)
- 10 試 合 方 法 ①各地区代表(島尻9、那覇11、宜野湾市3、沖縄市5、浦添5、北中頭7、北部3、宮古2、八重山2、決定戦1 宜野湾市地区と北部地区による決定戦11月27日)
参加資格を満たす参加希望チームによるトーナメント戦を行う。
②試合時間は全て40分間(前後半20分)とし、試合時間内に勝敗が決しない場合は、ペナルティキック方式(3名ずつ)を行う。3名で勝敗が決しない場合はサドンデスを行う。
準決勝戦、決勝戦のみ10分間の延長を行い、なおも勝敗が決しない場合は、ペナルティキック方式(3名ずつ)で決定する。3名で勝敗が決しない場合はサドンデスを行う。
- 11 表 彰 ①優勝、準優勝および3位・4位までを表彰する。(3位決定戦を行う)
②優勝、準優勝チームは2022年3月26日(土)・27日(日)JA全農杯 全国小学生選抜サッカーin九州兼KYFA第28回九州U-11サッカー大会in福岡に参加を推薦する。尚、3位、4位のチームにおいては鹿児島県で開催されるJR九州CUPサッカーフェスティバルへの出場権利が4種委員会より与えられる
③上位8チームは次年度のJFA U-12 サッカーリーグ(沖縄県TOPリーグ)への参加を推薦する。
(次年度のJFA U-12 サッカーリーグ(沖縄県TOPリーグ)参加推薦チームは、本大会の成績等を考慮し4種委員会で決定される。リーグ参加チーム数は現時点で未定のため、上位8チームの推薦に加えて、数チームが追加推薦されることがある。)
- 12 参 加 料 沖縄県大会 ¥10,000
2021年12月8日(水)までに、協会指定用紙を使用し、地区で一括して振り込むこと。
- 13 代 表 者 会 議 2021年12月8日(水)午後8時(いちゅい具志川じんぶん館(沖縄県うるま市川崎468)
代表者会議に持参するもの：なし
- 14 抽 選 組み合わせは、本部(4種委員会)抽選により決定する。
- 15 審 判 ①審判は帯同審判制を採用し、指導者は大会運営の協力を義務付ける。審判は各チーム2名とし、うち1名は3級以上の審判を帯同すること。
②審判は3人制を採用し、第4審判員を1名おく。
③審判証を本部へ提示すること(写真の表示が無いものは無効とする)
④主審を行った者は、審判報告書の提出を行うこと。
③審判は担当する試合30分前に審判ミーティングを義務づける。
- 16 各 地 区 代 表 各地区代表チームを2021年12月4日(土)18時までに決定し、チーム名と順位を下記へ報告すること。
【報 告 先】
①(一社)沖縄県サッカー協会(FAX：098-996-4733、E-mail：fa-okinawa@jfa.or.jp)
②北中頭地区担当：仲間清貴(携帯：090-9071-8547、E-mail：nakama_k@town.kin.lg.jp)
- 17 ユニフォーム・用具 ①本大会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
②正・副の2色については明確に異なる色とする。(通常、審判が着用する黒色、紺色などは認められない。)
③ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本大会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。

④選手番号は選手固有の登録番号をシャツの前面及び背面に付し、判別の明確な色彩及びサイズであること。また、台地に貼付けた番号についてはシャツにしっかりと縫りつけ、はがれないようにすること。

⑤ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同色系でも良いものとする。

⑥主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

⑦前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

⑧ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

⑨アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。(通常、審判が着用する黒色、紺色は認められない)

⑩アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

⑪試合後にペナルティマークからのキックにより勝者を決定する場合のユニフォームは以下の通りとする。

《試合中のフィールドプレーヤーがゴールキーパーを行う場合》

ゴールキーパーとなる選手は、選手固有の番号を付けた、サブユニフォーム(試合で使用していないユニフォーム)の上着のみ着用して出場することができる。選手固有の番号を付けたゴールキーパーユニフォームを着用する場合においても、上着のみ着用して出場することができる。

《試合中のゴールキーパーがフィールドプレーヤーを行う場合》

ゴールキーパーユニフォームのまま出場することができる。

(フィールドプレーヤーユニフォームを着用する必要はない)

18 ベンチ ①ベンチ(エリア)には、チーム関係者(監督・コーチ・登録選手)以外は入れない。ベンチ入りしているエントリ選手は、フィールドでプレーしている色彩と異なるピブスやジャージ等を着用すること。

②試合終了後は速やかにベンチ(エリア)を空けること。

19 懲罰規定 ①次の選手は、次試合(1試合)を出場停止とする。
・同一試合で警告を2度受けた選手及び退場処分を受けた選手。
・本大会累積警告が2枚の選手。
②レッドカードでの退場選手に関して、次の1試合を出場停止とし、それ後の処分について悪質な違反の場合は、大会規律・フェアプレー委員会と(一社)沖縄県サッカー協会4種委員会にて裁定する。

③前項②以外の事項の場合は、大会規律・フェアプレー委員会と(一社)沖縄県サッカー協会規律委員会で裁定する。

※4種委員会：委員長、副委員長ほか、各地区より選出された委員。

※大会規律・フェアプレー委員会

：4種委員長・副委員長・審判部長、本大会運営責任者 徳田、会場運営主任 仲間・徳田

20 移籍 移籍については、各地区予選開始日3日前までに登録完了している者は参加を認める。

21 感染症対策 ①感染症対策ガイドラインは、別紙「サッカー活動再開におけるガイドライン(4種委員会).PDF」に従う。

②本大会参加選手及びスタッフについては、参加の強要はしない。

③会場入口にて検温をし、37.0℃以上の人に入場させない。※平熱が高い場合は入場可とする。

④大会会場には、スタッフ3名(監督・コーチ)、登録選手、帯同審判(2名)以外は入場出来ません。

22 その他 ①荒天時(強風、大雨、雷雨等)により試合続行が不可能と判断された際は、試合を停止し、天候が回復次第、残り時間を再開する。(試合開始前大会本部にて、開始後は審判の判断にて決定する。)但し、試合再開が困難な時は抽選とする。(抽選に関しては大会本部(会場責任者)が決定する。)

②ケガについては各チームにて応急処置を行う。

③傷害保険については、各チームで加入すること。大会中におけるケガや賠償金が発生する損害については、当事者で解決すること。

④使用する施設・設備を大切にし、マナーを厳守すること。

⑤貴重品の管理・ゴミの持ち帰りは、各チームの責任で行う。

⑥飲水タイムについては、大会当日の天候により主審の判断にて行う。

⑦試合会場では他競技も実施されるため、駐車場が非常に混み合います。また、マイクロバス等の大型車両で来場するチームは各々で駐車場を確保してください。一般道での一時駐車も厳禁です。人や荷物の上げ下ろしなどは駐車場内で行うよう徹底してください。

⑧大会参加チームは、大会期間中、4種委員会により撮影された動画・画像は4種委員会の広報活動において使用されることを許諾したものと見なします。

細 則

- 1 競技規則
 - ①フリーキック：相手競技者は7m以上ボールから離れる。
 - ②キックオフ：キックオフから直接相手のゴールに入った場合は、相手にゴールキックが与えられる。
 - ③コーナーキック：ボールがインプレーになるまで、相手競技者は7m以上ボールから離れる。
 - ④試合球：4号球を使用する。空気圧は0.8気圧とする。
 - ⑤競技者は8人(内1名はゴールキーパー)とし、6人に満たなくなった場合(5人以下)は0-5の負けとする。
 - ⑥グリーンカードを推奨する。
 - 2 試合方法
 - ①ハーフタイムのインターバルは、5分以内とする。
 - ②準決勝戦、決勝戦の延長戦に入る前のインターバルは、5分以内とする。PK方式に入る前のインターバルは、1分以内とする。
 - ③準決勝戦、決勝戦では各試合60分前にマッチコミッショナー、両チームの代表者、審判員、によるマッチ・コーディネーション・ミーティングを行う。マッチ・コーディネーション・ミーティング時には正・副のユニフォームを持参すること。(写真にてユニフォームの色彩が明確に判別できる場合は可とする。)
 - ④試合前のセレモニーについては、決勝戦のみ行う。
 - 4 ユニフォーム
 - ①大会要項17項に記載の通りとする。
※前半・後半開始時、シャツはショーツの中に入れることを指導すること。
 - ②広告の入ったユニフォームの着用は認めない。しかし、所定の手続きを完了した物については、その限りでない。又、各国代表レプリカユニフォームを着用する場合も代表のエンブレム(マーク)が入っている場合も同じである。
 - 5 ベンチ
 - ①戦術的指示を伝える役員は都度1名のみである。
 - ②テクニカル：設置する。
 - 6 懲罰規定
 - ①退場になった場合、他の選手を補充し、常に8人でプレーできるものとする。
 - 7 その他
 - ①開会式：与那城陸上競技場で第2試合を行うチームにて参加となります。
 - ②閉会式：決勝戦終了後速やかに(3位・4位チームも参加)。
 - ③アディショナルタイムの表示：決勝戦のみ実施する。
 - ④飲水について：飲水タイムの有無については、本大会運営責任者もしくは、会場運営主任が判断して、両チームにその旨を知らせる。
 - ⑤負傷した競技者の負傷の程度を確認するために入場を許可される監督・コーチの数は「2名」とする。
 - ⑥異議：ベンチ(監督、コーチ、スタッフ等)が審判の判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声を浴びせる等のネガティブなコーチングを行ったりして、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
 - ⑦フェアプレー：
 1. ベンチ入りする指導者は、試合に参加するすべての関係者(審判、選手、運営、スタッフなど)にリスペクトを持つことを義務づける。指導者の言動により、関係者、観客が不快な感情を持つことのないよう、良識のある言動を義務づける。
 2. 自チームの選手であっても、1人の人格を持った人間であることを強く意識し、指導を行うこと。上記が順守されていないと、審判、運営スタッフが判断した行為については、試合中に限らず、該当指導者へ警告を行う。また、その内容によっては、ベンチからの退席指示、フェアプレー委員会による懲罰検討の対象とする。
 - ⑧ウェルフェアオフィサー：サッカーを楽しむ大前提である安心、安全を守る担当者(=ウェルフェアオフィサー)を配置します。サッカーにおける暴力根絶を目指し、指導者と試合の講評の伝達、意見交換等を行います。
 - ⑨新規登録に関しては、各地区予選開始日3日前までに登録を完了した者の参加を認める。
 - ⑩落雷：落雷等の危険性がある場合の試合については、下記のとおりとする。
1. 落雷等の危険性について
 - (1) 試合開始前
 - ①試合開始時において、雷等の注意報が発令している場合には、試合を開始せずに60分間天候状況を確認する。
 - ②60分間天候状況を確認して、雷等の注意報が解除されていない場合には、大会本部(会場責任者)が中止を決定する。
 - ③どうしても当日中に勝敗を決定しなければならない場合には、大会本部にて抽選で勝敗を決定する。
 - (2) 試合続行が困難な場合(落雷の危険性及び雷注意報が発令)
 - ①審判が試合続行が困難と判断した場合には、試合を停止する。
 - ②大会本部(会場責任者)が、試合続行が困難と判断した場合には、試合を停止するよう審判に勧告するものとする。
 - ③再開の目処として、雷が完全に鳴り止んでから30分間状況を確認する。30分間経過後も雷が鳴り止まない場合には大会本部(会場責任者)にて「更に中断を続行するか?」、「試合再開するのか?」判断を行う。
 - ④中断時間は最長60分間を限度とする。60分経過後に試合再開が不可能な場合は試合中止とし再試合を行う。
 - ⑤どうしても当日中に勝敗を決定しなければいけない場合には、中断した時点での得点にて勝敗を決定する。同点の場合には、大会本部(会場責任者)においてはコイントスによる抽選で勝敗を決定する。
 2. その他何らかの要因によって、試合開始及び試合続行が困難な場合の対処方法について
 - (1) 1. の、「落雷等の危険性について」に準ずる。
 - (2) 但し、「生命に危険性がない」と判断される場合においては、大会本部(会場責任者)の判断にて柔軟な対応を行う。

(一社) 沖縄県サッカー協会新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

(一社) 沖縄県サッカー協会

新型コロナウイルス感染防止対策の為、下記を遵守して下さい。

1. 以下の事項に該当する場合は自主的に試合の参加を見合わせて下さい。

- ・ **当日自宅にて検温を行い37.5度以上の熱がある場合。**
- ・ **体調が良くない場合。**
- ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
- ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

2. 試合会場にての対応

大会担当者

- ・ 大会担当者は非接触型検温器及び手指消毒液を常備する。
- ・ **来場時には手指消毒及び検温を徹底して実施する。**
- ・ 大会担当者はチェック時に選手・役員全員の検温を行い37.5度以上の熱がある選手・役員は試合に参加する事ができないので帰宅を宣告してください。
- ・ 大会参加者のチェックリストを用意する。**(選手・チーム役員、来場者)**
(チェックリストとは、クラスター発生時に全員と連絡が取れること)

チーム

- ・ 試合前のアップ、試合中以外は必ずマスクを着用して下さい。
- ・ 試合前、終了後の整列しての挨拶、円陣は行わないようにして下さい。
- ・ ベンチではマスクを装着し、間隔をおいて着席するようにして下さい。
- ・ **水の回し飲みはやめ、マイドリンク(ボトル)を持参してください。**
- ・ **握手、ハイタッチ、ハグは行わないようにして下さい。**
- ・ つばを吐く、手鼻をかむなどの行為は行わないようにして下さい。
- ・ 常にソーシャルディスタンスを意識して行動を行って下さい。
(●人との間隔はできるだけ2m(最低1m以上)あけること。)

その他

1. (一社) 沖縄県サッカー協会主催行事に関する観客動員について

人と人の距離を十分に確保できること(出来るだけ2m)を条件に動員を認めるものとする。

(ただし上記チェックリストを遵守することを条件とする。)

2. 大会期間中に参加チーム及び大会関係者に感染者が出た場合速やかに県協会に報告し協議の上、以降の大会開催について決定する。

以上、他に思い当たる事があれば感染症拡大防止の為に積極的に実施して下さい。

(一社) 沖縄県サッカー協会新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン 4種委員会補足事項

(一社) 沖縄県サッカー協会 4種委員会

新型コロナウイルス感染防止対策の為、(一社) 沖縄県サッカー協会では、ガイドラインを策定しております。本ガイドラインは、4種委員会としての観点から、これに補足・追記するものの位置づけとなります。下記を遵守して下さい。

大原則：政府、自治体、学校、スポーツ協会等の自粛方針を尊重した上で、関わる全ての方の健康及び安全を最優先する。

**方針：①大会主催上位団体の方針（ガイドライン）を優先とする。
②県協会主催大会の開催は、総合的に鑑みて各種別にて判断するが、最終責任は（一社）沖縄県サッカー協会に帰する。**

1. 以下の事項に該当する場合は自主的に試合の参加を見合わせて下さい。

- ・『2021年度沖縄県サッカー協会4種委員会主催・主管大会における参加条件について』に該当する場合。

2. 試合会場にての対応

《大会運営担当者》

- ・大会役員・チーム役員・選手と、それ以外の参加者（保護者等観戦者）が立ち入るエリアを明確に区別するよう努力すること。IDを導入すること。大会役員・チーム役員・選手が立ち入るエリアにおいては、受付を設置し、入場者全員の検温と連絡先を記録すること。ただし、次の2点で上記代替とする。
 - ①【**審判・運営担当者**】健康チェックシートの提出（10日分の検温記録）
※各大会1日目および週跨ぎの開催日は来賓を除き義務
 - ②【**チーム役員・選手**】エントリー表による提出
※健康チェックシートは別途指定あり上記連絡先記入簿、健康チェックシート、エントリー表については2週間保管すること。また、求めに応じて提出できる状態とすること。使用会場団体から提出を求められた場合、コピーの上、提出すること。
- ・各試合前には、観客に対し、観戦時の留意事項をアナウンスすること。（会場内放送、または、ハンドスピーカー等によるアナウンス）
- ・運営簡素化の検討・努力を行い、少人数での運営を試みる。特に本部での蜜状態を回避すること。

《チーム》

- ・ベンチ内の選手のマスク着用は、過呼吸防止の観点から緩和し不要とします。
- ・ベンチ内の指導者はマスクを着用すること（コーチング時も着用）
- ・アップ時、ベンチ内では、他選手と共有のビブスの着用を控えること。チーム統一での、ジャージ、セカンドユニフォーム等を着用すること。
- ・会場での滞在時間を可能な限り、短くするよう努力すること。（アップ直前の来場、試合後ミーティングは別途実施等）

《観戦者》 ※大会により無観客での実施あり。無観客の場合、下記は適用されません。

- ・ 観戦以外の時間帯、簡易テント等を設営しての待機を行わないこと。
- ・ 観戦時以外の時間帯の来場を控えること。
- ・ 指定された観戦場所を遵守すること。
- ・ 観戦時はマスクを着用すること。
- ・ 人との間隔はできるだけ2m（最低1m）あけること。
- ・ 応援において次の事項を禁止します。
 - － 応援を扇動する。
 - － 声を出しての応援、指笛・手拍子
 - － タオル、大旗を含むフラッグなどを”振る”もしくは”回す”
 - － メガホン等の使用
 - － 太鼓等の鳴り物
 - － ハイタッチ、肩組み

《無観客試合》

- ・ 無観客試合では、大会関係者、チーム役員（大会ごとに指定）、選手、以外の方の会場での滞留を制限する。
- ・ 上記に該当しない保護者、チーム関係者は、選手送迎時以外、会場に留まらないこと。
- ・ 大会関係者は、会場周辺での観戦者を常時確認すること。

3. チーム役員、選手、審判、運営担当者の健康チェックシートについて

- ・ 健康チェックシートは大会当日をふくめて10日分の検温を記録すること。
 - ・ 【チーム役員・選手】については、大会開催日により、次の対応を行うこと
 - 《同一週に1日のみ開催・2日以上連続開催の初日》
健康チェックシートを全役員、選手分回収、記入内容を確認の上、エントリー表に体温、確認チェックを記入の上、健康チェックシート原本を受付で提出する。
 - 《2日以上連続開催の2日目以降》
健康チェックシートの提出は不要。エントリー表に体温を記入すること。
 - ・ 【審判・運営担当者】については、大会開催日により、次の対応を行うこと
 - 《同一週に1日のみ開催・2日以上連続開催の初日》
健康チェックシートを受付に提出し、IDを受け取り、常時携帯すること。
 - 《2日以上連続開催の2日目以降》
該当者が参加1日目である場合、健康チェックシートを受付に提出すること。
2日目以降である場合は、受付で検温チェックの上、参加者名簿を記載すること。
受付で、IDを受け取り、常時携帯すること。
- 以上

2021年度 沖縄県サッカー協会 4種委員会主催・主管大会における参加条件について

2021年度に沖縄県サッカー協会4種委員会が主催・主管する大会等について、今般の状況を鑑み、選手・指導者及びチームの参加について、従来の大会参加の条件に以下を加えることとする。

【選手の参加を認めない場合】

1	選手が新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）に罹患している場合
2	感染症の治療後、医師あるいは保健所等から日常生活に係る諸活動について制限を課せられている場合。（保護者への聞き取りで判断することとし、診断書等の提出は求めない。）
3	選手が感染症に罹患した者の接触者（以下「濃厚接触者」）として、保健所から自宅待機の指示を受けている場合。
4	選手と同居する者が、濃厚接触者に特定されている場合。 ※但し、濃厚接触者がPCR検査結果で陰性（－）の場合は除く。
5	選手が在籍する小学校が感染拡大防止のため、 学校長がスポーツ活動の中止、もしくは、自粛を求めた場合。

【指導者の参加を認めない場合】

1	指導者が感染症に罹患している場合
2	感染症の治療後、医師あるいは保健所等から日常生活に係る諸活動について制限を課せられている場合。（本人への聞き取りで判断することとし、診断書等の提出は求めない。）
3	指導者が濃厚接触者として、保健所及び所属先等から自宅待機の指示を受けている場合。
4	指導者と同居する者が、濃厚接触者に特定されている場合。 ※但し、濃厚接触者がPCR検査結果で陰性（－）の場合は除く。

【チームの参加を認めない場合】

1	チーム内で罹患者が5名以上発生している（「クラスター」が発生している状態にある）場合。
2	保健所や行政等から、感染症拡大防止のため活動自粛が求められる場合。
3	選手が在籍する小学校が感染症拡大防止のため、 学校長がスポーツ活動の中止、もしくは、自粛を求めた場合。
4	大会前、2週間のチーム練習が実施できていない場合 （2週間の基準は大会1日目からの逆算とする。チームの対戦初日ではない。）
5	学校PCR検査により、部員に罹患者が出た場合（1人でも罹患者が出た場合、 部員全員が濃厚接触者と認定されるため、大会参加は認められない）

【その他】

健康チェックシート未提出者は、いかなる理由があっても大会への参加を認めない。